

目次

Contents	Page
I 岡山都市圏における公共施設の立地状況	2
1. 公共施設の概況	2
2. 広域利用施設の状況	3
II 岡山都市圏市民アンケート結果概要（公共施設関連）	20
1. アンケート調査の概要	21
2. 広域利用施設の利用状況	22
3. 今後の公共施設についての意識	28

Ⅱ-1. アンケート調査の概要

- 岡山都市圏住民アンケートは、住民の日常の生活圏域と今後の地域づくりのための必要な取組を把握することを目的に実施した。全6,000通の調査票を発送し、回収数は3,238通（回収率54.2%。有効発送数ベース）である。
- 本項ではこのアンケート調査から公共施設の利用に関するものを抜粋し記載する。

□ 岡山都市圏住民アンケート概要

項目	内容
調査目的	①岡山都市圏内の住民の日常の生活圏域の把握 ②今後の地域づくりのために必要な取組の把握
調査対象	岡山都市圏内住民
データ数	○サンプル数 6,000票(有効発送数5,977票) ○有効回答数 3,238票(回収率54.2%)
調査時点	2015年10月21日～11月10日(本報告書掲載の有効回答数、回収率は11月30日までの回収分を反映)
標本抽出	岡山都市圏内の市町の20歳～70歳代の住民を無作為抽出(市町の人口規模に応じ、発送数を按分)
調査方法	自記入式アンケート調査票を郵送により配布・回収
調査事項	<ul style="list-style-type: none"> ● 基本事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 性別、年齢、居住地、家族構成、職業、運転免許の有無 ● アンケート事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活の生活圏域～日常の生活で利用する施設の場所・交通手段・所要時間、居住地の満足度 ・ 地域づくりに必要な取組～優先的に取り組むべき事項、市町村の連携についての意識、連携して取り組むべき事項

□ アンケート回収状況

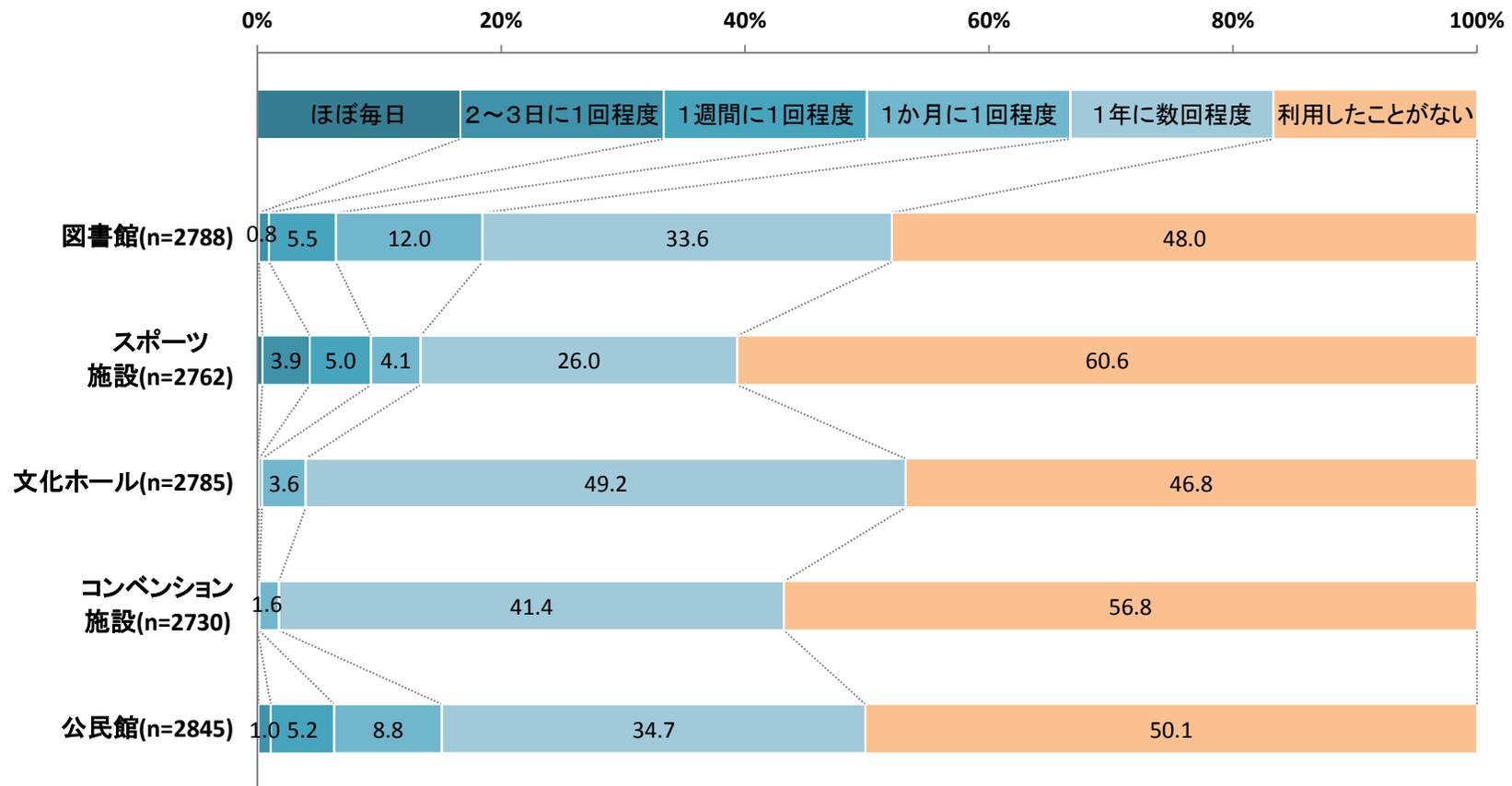
市町村	発送数(票)	回収数(票)	回収率(%)
岡山市	2,000	1,025	51.3
北区	-	413	-
中区	-	220	-
東区	-	164	-
南区	-	228	-
津山市	600	250	41.7
玉野市	400	219	54.8
総社市	400	232	58.0
備前市	400	199	49.8
瀬戸内市	400	212	53.0
赤磐市	400	226	56.5
真庭市	400	234	58.5
和気町	200	119	59.5
早島町	200	110	55.0
久米南町	200	136	68.0
美咲町	200	109	54.5
吉備中央町	200	125	62.5
不明	-	42	-
合計	6,000 (有効発送数:5,977)	3,238	54.2 (有効発送数ベース)

出所:岡山都市圏住民アンケートより

Ⅱ-2. 公共施設の利用状況 【公共施設の利用頻度】

- 公共施設（図書館・スポーツ施設・文化ホール・コンベンション施設・公民館）の利用状況では、全施設を通じ「利用したことがない」が約半数となっている。
- 施設ごとでは、図書館は「1か月に1回程度」以上の利用頻度が18.4%と他施設に比べ利用頻度が高い施設となっている。次いで利用頻度が高いのが「公民館」（同15.1%）、「スポーツ施設」（同13.4%）である。
- 文化ホール・コンベンション施設はともに「1か月に1回程度」以上の利用頻度は少なく、「1年に数回程度」の利用が多い。

□ 岡山都市圏の公共施設の利用頻度

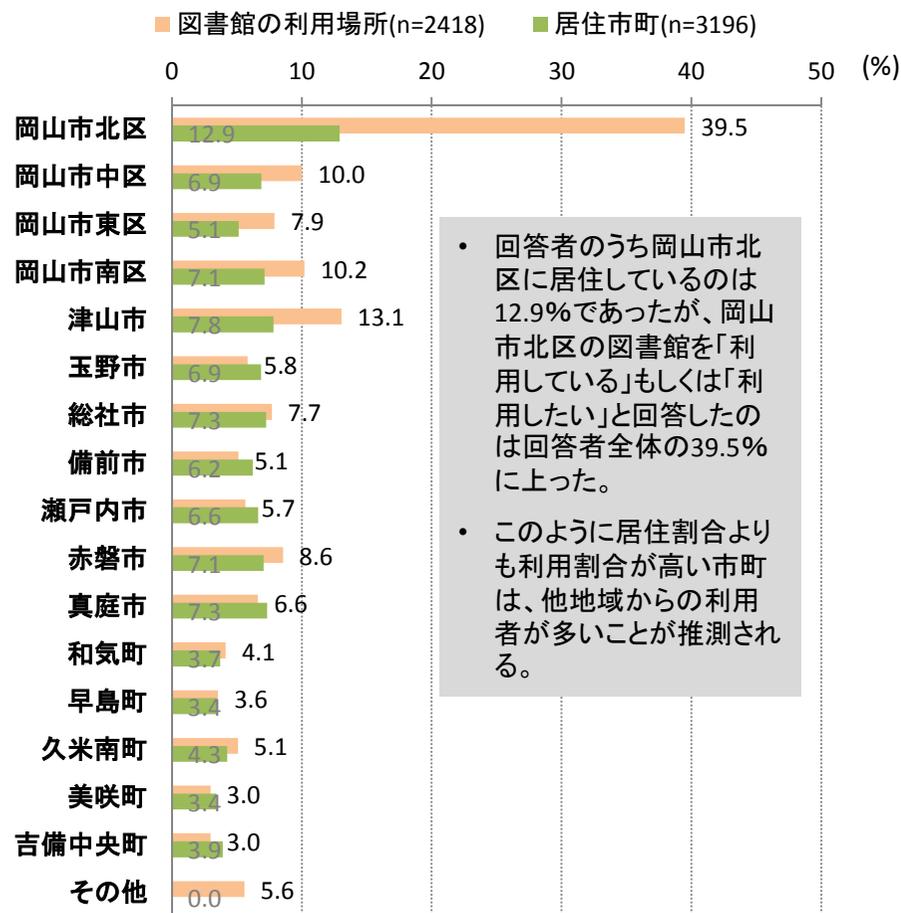


出所：岡山都市圏住民アンケートより(グラフ内のn値は不明を除く回答数を表している)

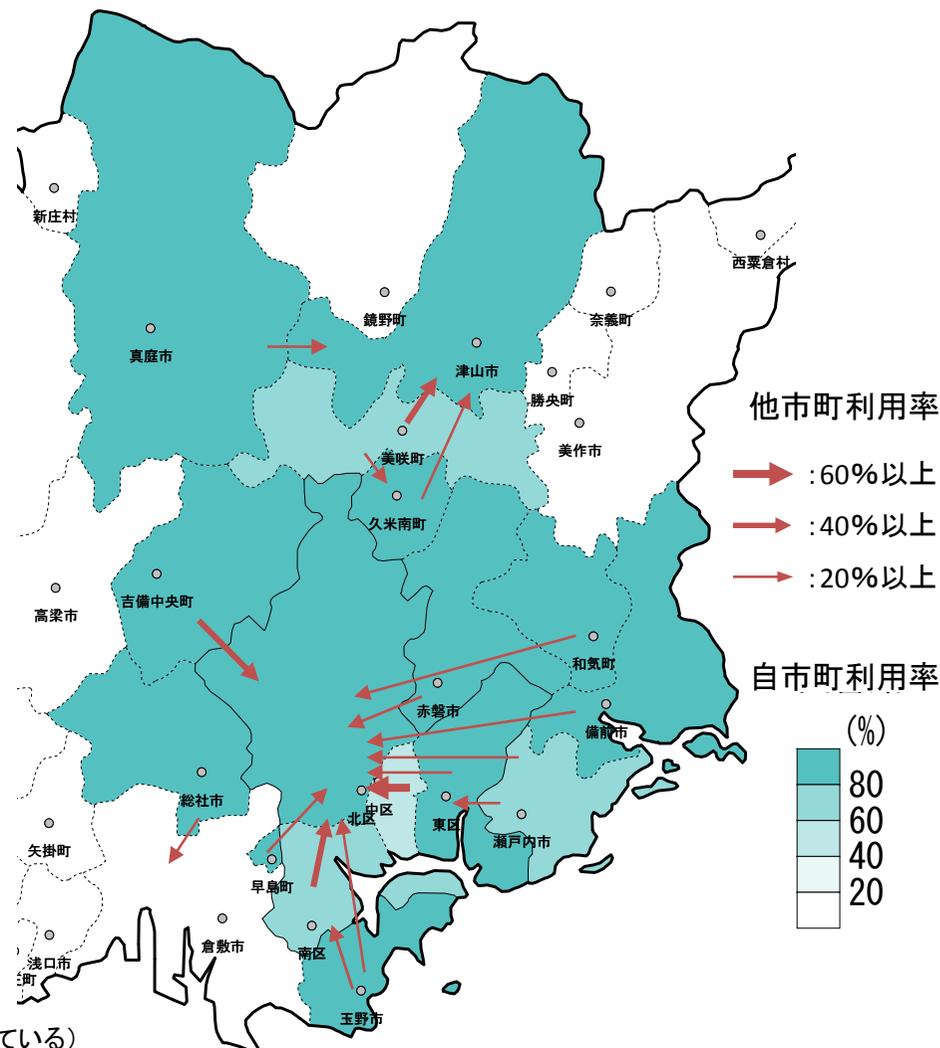
II - 2. 広域利用施設の利用状況 【図書館】

- 圏域内の大部分の市町では、自市町の図書館の利用率が80%以上となっている。
- 他市町の利用としては、岡山市北区へは圏域南部の他市町から、津山市へは圏域北部の他市町からといった動きが見られる。特に岡山市立中央図書館や岡山県立図書館が立地する岡山市北区への利用が集中している状況である。

□ 岡山都市圏内の図書館の利用状況



- 回答者のうち岡山市北区に居住しているのは12.9%であったが、岡山市北区の図書館を「利用している」もしくは「利用したい」と回答したのは回答者全体の39.5%に上った。
- このように居住割合よりも利用割合が高い市町は、他地域からの利用者が多いことが推測される。



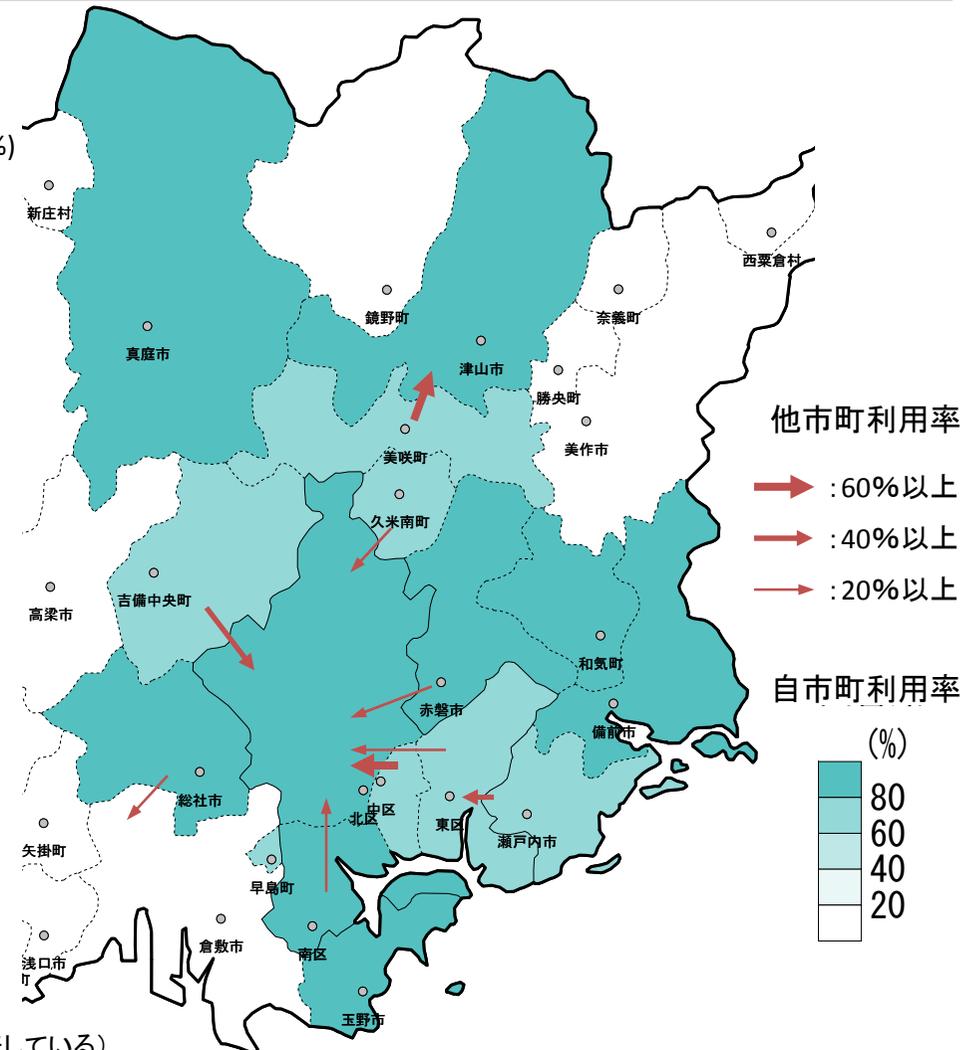
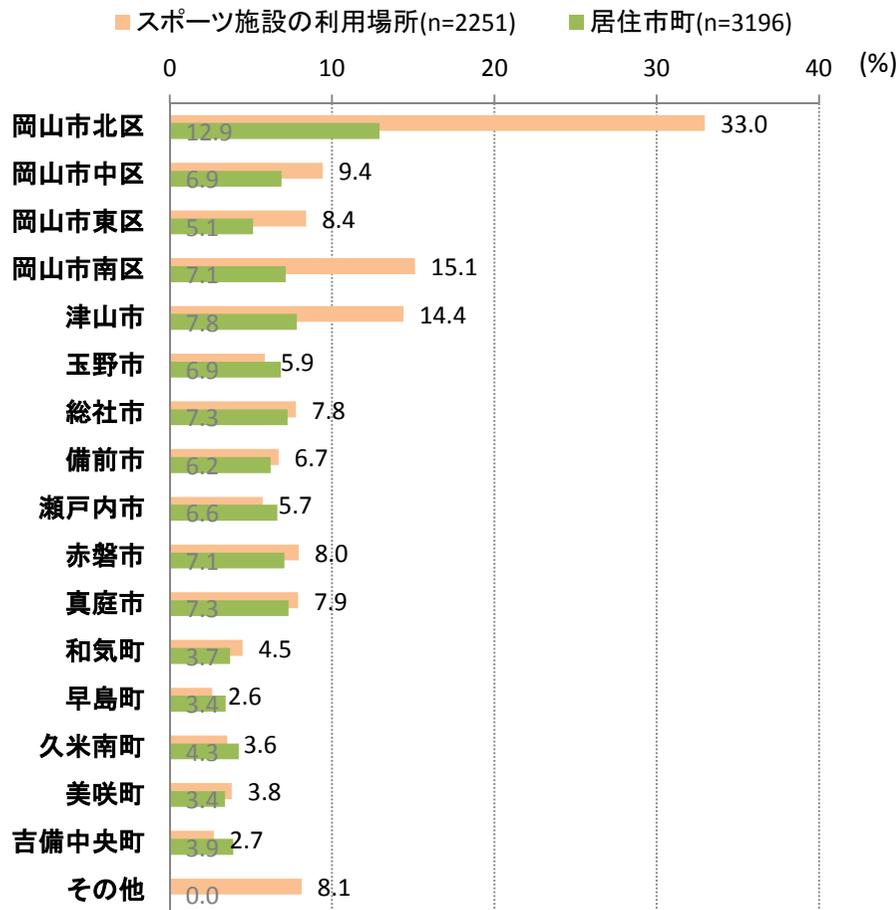
出所: 岡山都市圏住民アンケートより(グラフ内のn値は不明を除く回答数を表している)

(注) 本アンケート調査では「利用している」もしくは「利用したい」公共施設を調査しているため、利用場所・利用率ともに実際の利用に利用希望を加えた数値となっている。

Ⅱ-2. 広域利用施設の利用状況 【スポーツ施設】

- 圏域内の多くの市町では、自市町のスポーツ施設の利用率が80%以上となっている。
- 他市町の利用としては、岡山市北区へは圏域中部・南部の他市町から、津山市へは美咲町からといった動きが見られる。特に岡山県総合グラウンドが立地する岡山市北区への利用が目立っている。

□ 岡山都市圏内のスポーツ施設の利用状況



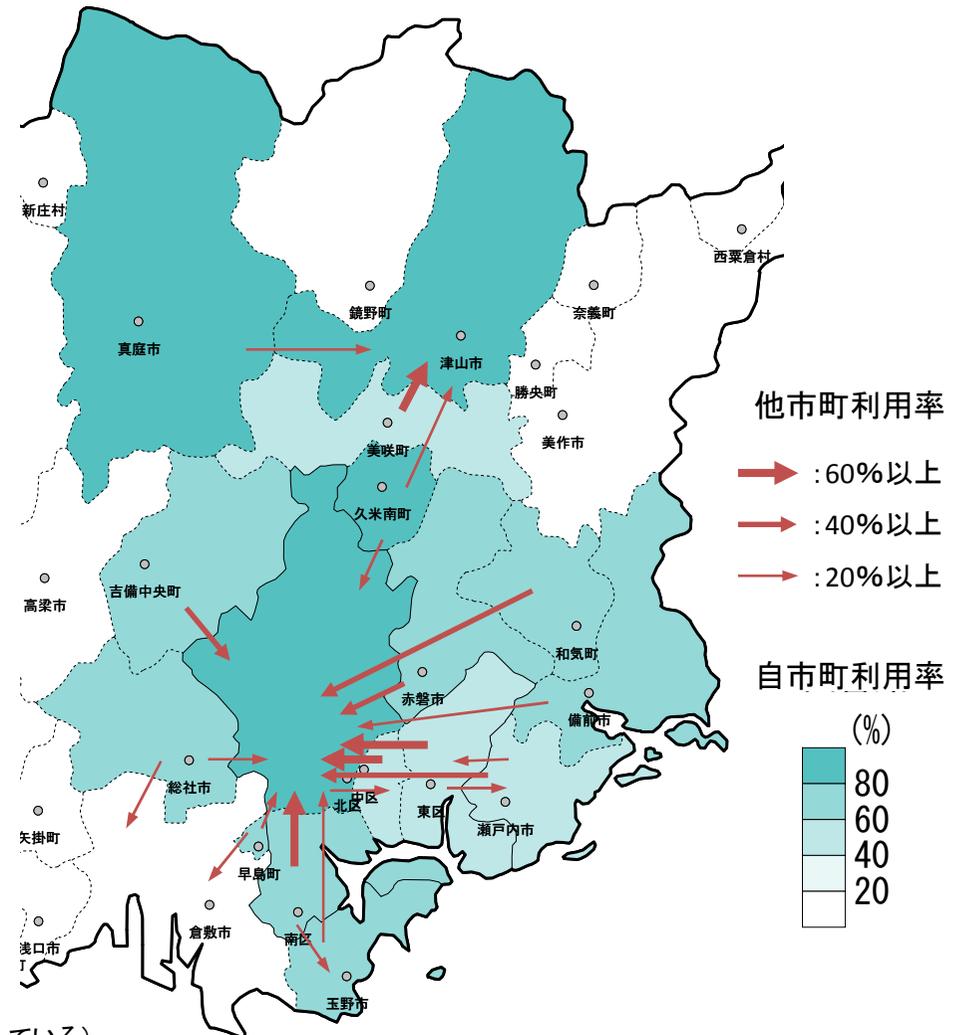
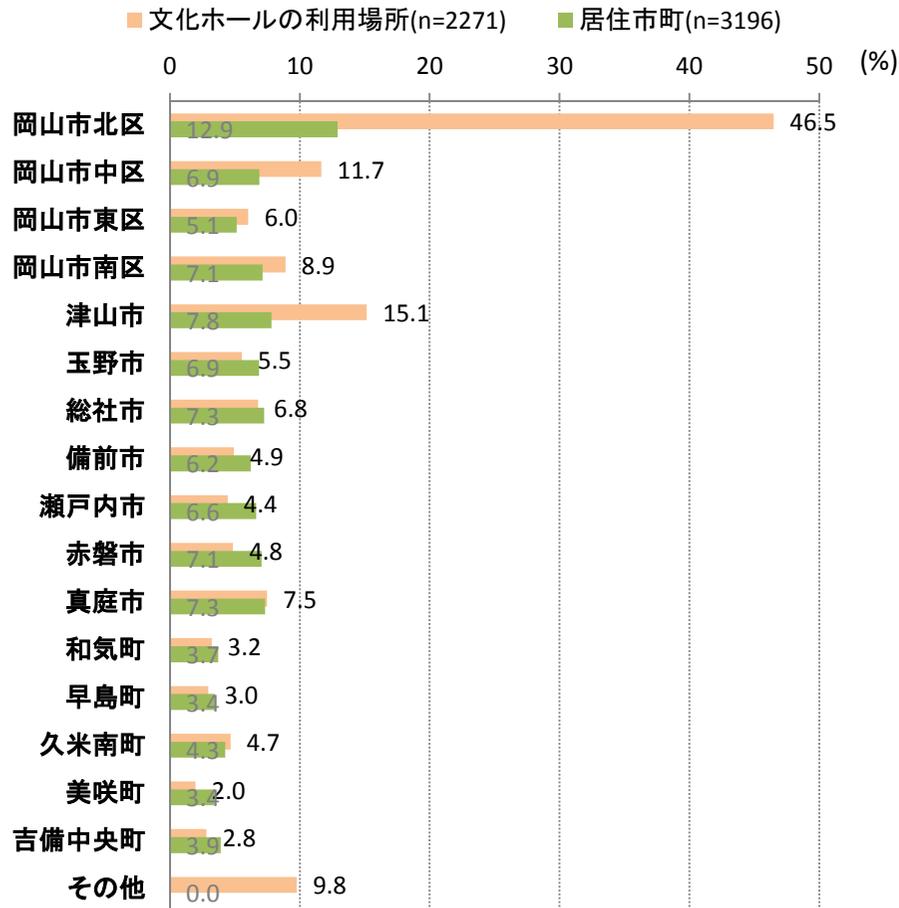
出所: 岡山都市圏住民アンケートより(グラフ内のn値は不明を除く回答数を表している)

(注) 本アンケート調査では「利用している」もしくは「利用したい」公共施設を調査しているため、利用場所・利用率ともに実際の利用に利用希望を加えた数値となっている。

Ⅱ-2. 広域利用施設の利用状況 【文化ホール】

- 文化ホールについては、岡山県北区・津山市・真庭市・久米南町について自市町内の利用率が80%を超えている。
- 広域利用としては、岡山シンフォニーホール・岡山市民会館等が立地する岡山市北区への集中が顕著にみられるほか、音楽文化ホール（ベルフォーレ津山）がある津山市に圏域北部の他市町からの利用がみられる。

□ 岡山都市圏内の文化ホールの利用状況



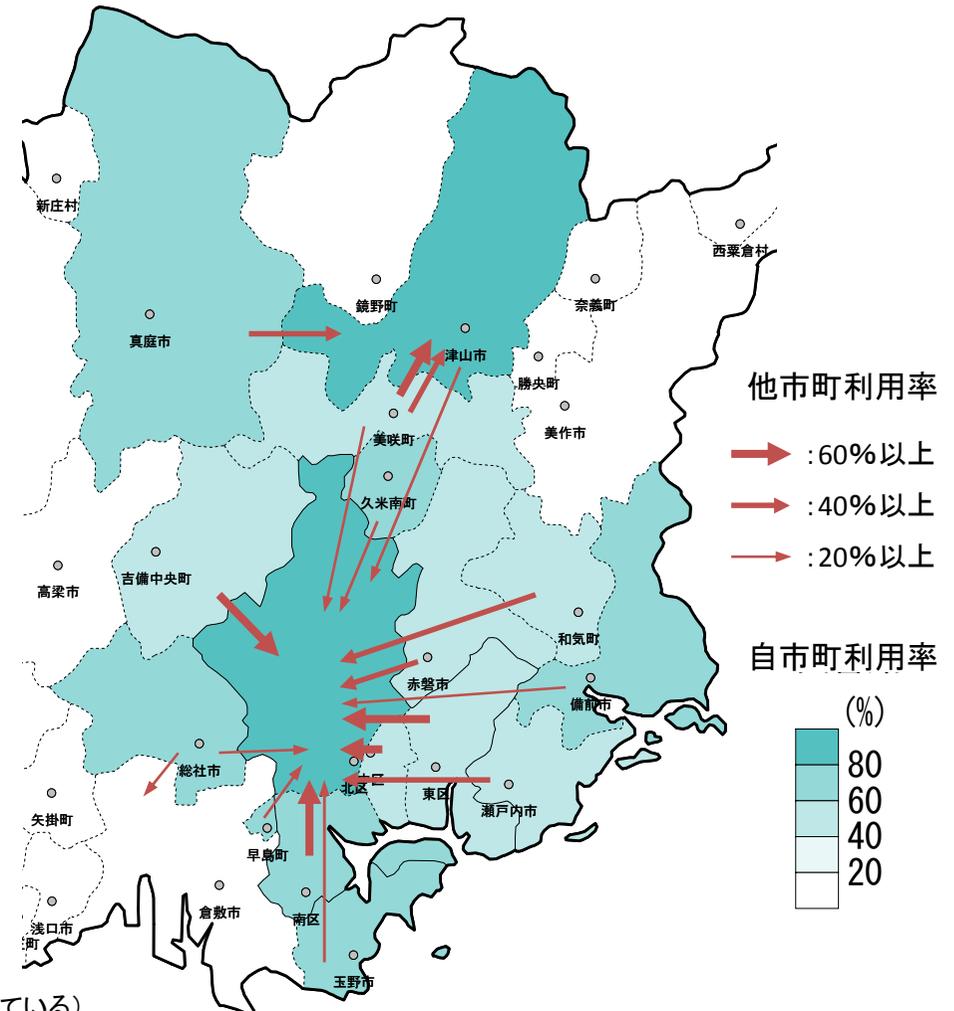
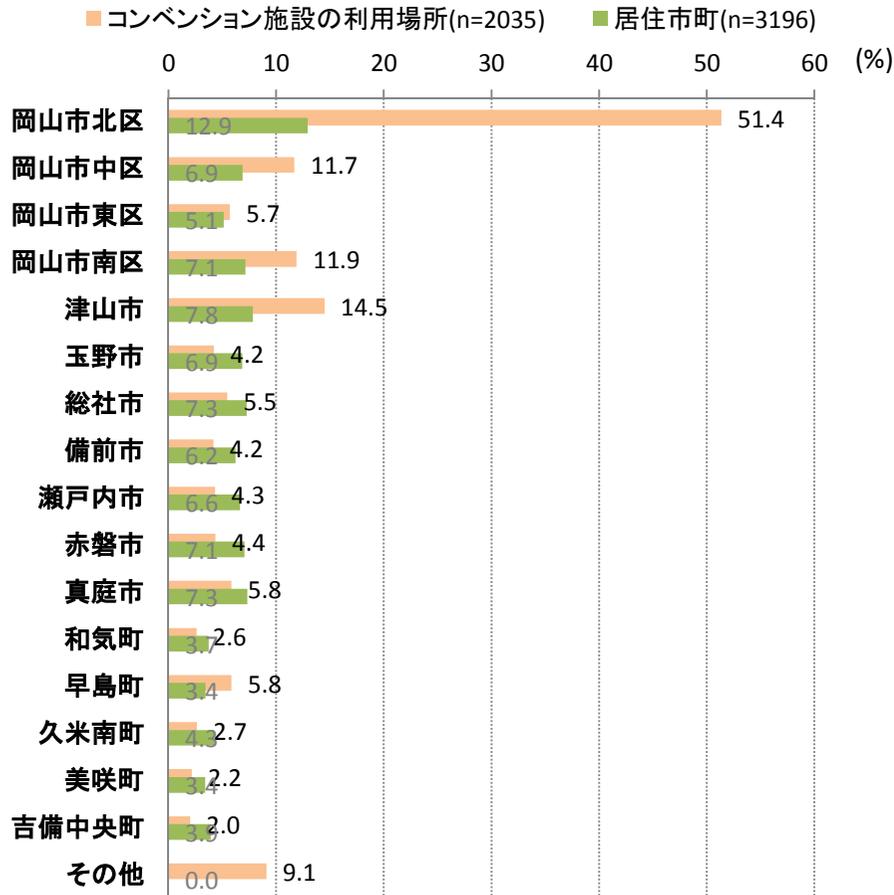
出所: 岡山都市圏住民アンケートより(グラフ内のn値は不明を除く回答数を表している)

(注) 本アンケート調査では「利用している」もしくは「利用したい」公共施設を調査しているため、利用場所・利用率ともに実際の利用に利用希望を加えた数値となっている。

Ⅱ-2. 広域利用施設の利用状況 【コンベンション施設】

- コンベンション施設については岡山市北区と津山市のみが自市町内の利用率が80%を超えている。
- 広域利用としては、岡山コンベンションホール・岡山県総合展示場コンベックス岡山が立地する岡山市北区に利用が集中しているほか、津山市での利用の動きがみられる。

□ 岡山都市圏内のコンベンション施設の利用状況



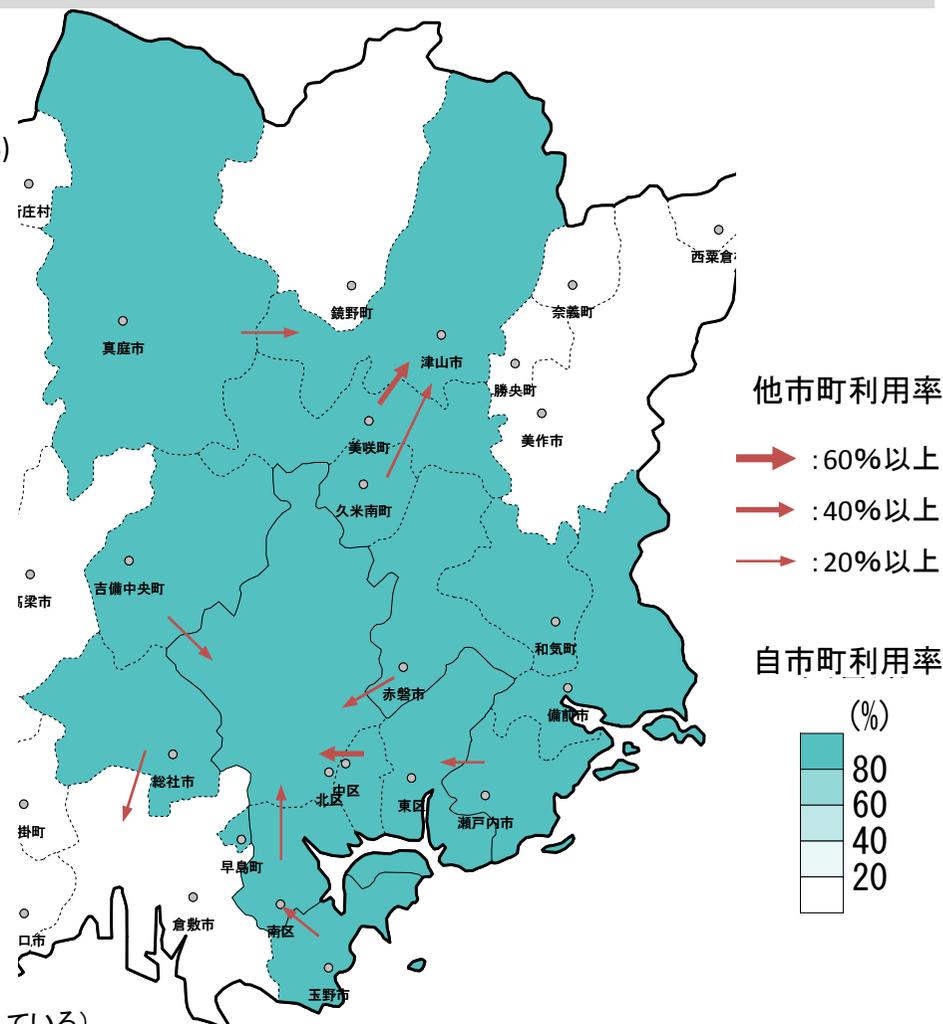
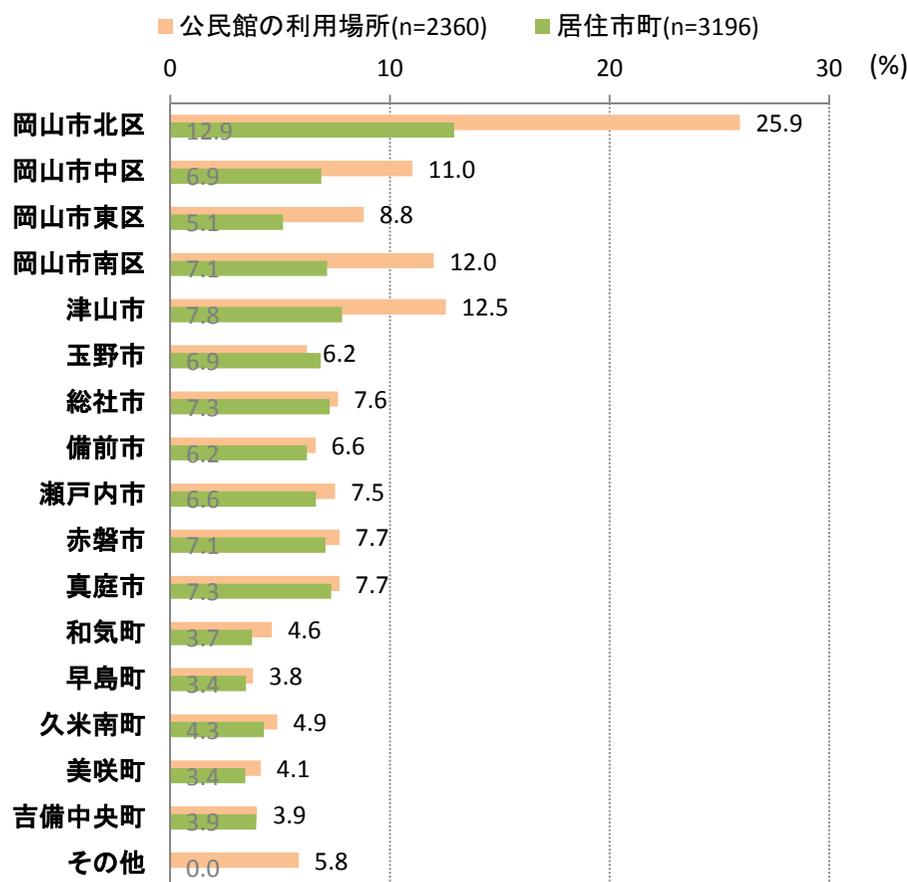
出所: 岡山都市圏住民アンケートより(グラフ内のn値は不明を除く回答数を表している)

(注)本アンケート調査では「利用している」もしくは「利用したい」公共施設を調査しているため、利用場所・利用率ともに実際の利用に利用希望を加えた数値となっている。

Ⅱ-2. 広域利用施設の利用状況 【参考：公民館の状況】

- 公民館は広域利用施設ではなく、主に地元住民の利用を目的とした施設であることから、圏域内全市町で自市町内の利用率が80%以上となっている。
- 広域利用としては、圏域南部では岡山市北区、圏域北部では津山市への利用がみられる。

□ 岡山都市圏内の公民館の利用状況



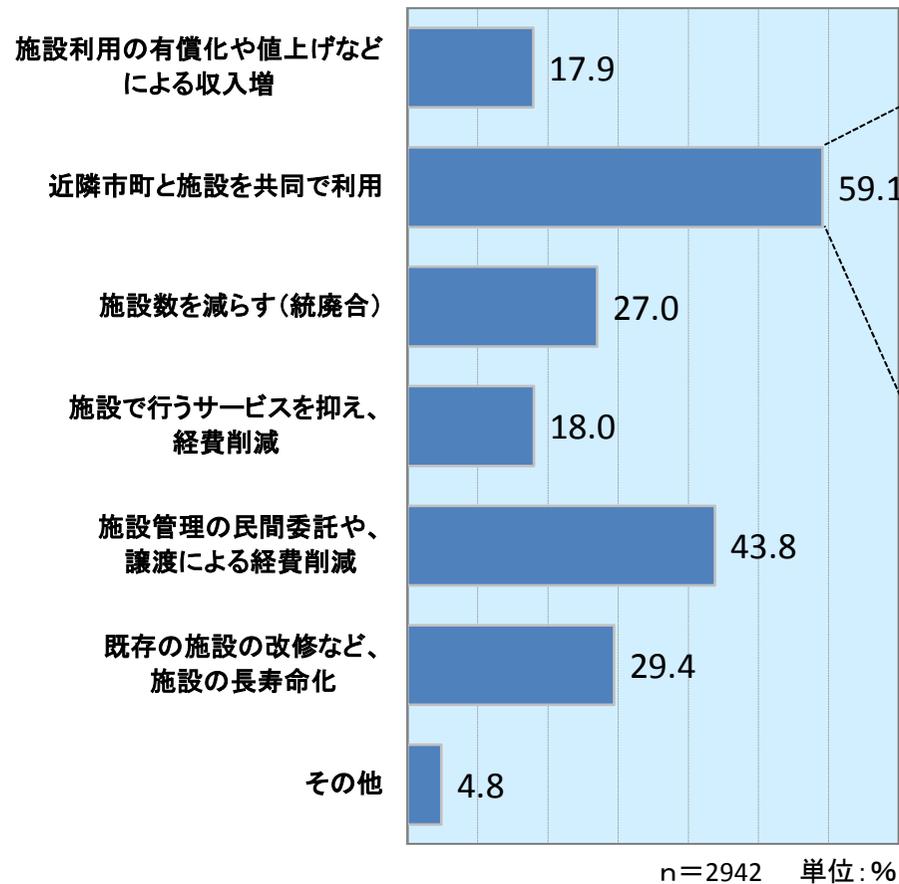
出所：岡山都市圏住民アンケートより(グラフ内のn値は不明を除く回答数を表している)

(注)本アンケート調査では「利用している」もしくは「利用したい」公共施設を調査しているため、利用場所・利用率ともに実際の利用に利用希望を加えた数値となっている。

Ⅱ-3. 今後の公共施設についての意識

- 公共施設の今後の維持・管理方法として、都市圏住民が望む維持・管理方法は、「近隣市町と施設を共同で利用」が59.1%と最も高い比率となった。次いで「施設管理の民間委託や、譲渡による経費削減」が43.8%、「既存の施設の改修など、施設の長寿命化」が29.4%と続いている。
- 市町間での共同利用を進めるべき公共施設は、「スポーツ施設」が49.4%で最も高かった。次いで「ゴミ処理施設」(44.9%)、「文化ホール」(39.6%)、「図書館」(36.7%)と続いている。

□ 公共施設の今後の維持・管理についての住民意識



□ 市町間で広域利用をするべき公共施設

